

第20回外務省政策会議 (概要記録)

日時: 2月25日(木) 8:00 ~ 9:30

場所: 衆議院第2議員会館 第1会議室

出席議員の概数: 20名程度

議題: 駐アジア大洋州諸国大使との懇談

・駐アジア大洋州諸国大使からの情勢説明

配布資料に基づいて、宮本駐中国大使(中国情勢)、重家駐韓国大使(韓国・朝鮮半島情勢)、堂道駐インド大使(南西アジア情勢)、塩尻駐インドネシア大使(ASEAN情勢)、坂場駐ベトナム大使(ベトナム・メコン情勢)から説明。

・質疑応答

(質問・コメント)

- ・ 日米・日中関係に関する中国の見方如何。
- ・ 台湾情勢、米国の台湾への武器輸出に対する中国の対応如何。
- ・ 朝鮮半島情勢に関する情報収集はどのように行っているのか。
- ・ EPAを推進する韓国の国内農業対策如何。
- ・ 韓国における我が国の外国人参政権の捉え方如何。
- ・ 官民連携、ODA、大型案件売り込みが必要。
- ・ ミャンマー民主化に向けた取り組み、長井健司氏死亡事件の真相解明の状況如何。
- ・ 東ティモールの最新情勢如何。

(回答: 出席大使)

- ・ 中国は、日中関係を重視し、また日米関係の安定を評価。
- ・ 現在の中台関係は安定している。しかし、中国は米による台湾への武器輸出について厳しく米国に対応。
- ・ 北朝鮮情勢については、関係国と連携して情報収集をしている。
- ・ 韓国において、本格的な国内農業対策への着手はこれからである。
- ・ 韓国国内においても、我が国の外国人参政権への関心は非常に高い。
- ・ オールジャパンの体制で取り組むことが必要。技術、資金支援、人材育成が日本の強み。
- ・ ミャンマーの総選挙が民主的に実施されることが極めて重要。長井氏事件の真相解明を引き続き要求していく。
- ・ 東ティモールでは独立を決定した住民投票から10年経ち、安定に向けて努力している。

(了)